



手づくり
地産ころ柿
(青柳町地内)

富士川町議会

検索

■ 12月定例会で決まったこと	2
■ 委員会レポート	4
■ 特集 議会改革	6
■ 医療問題	8
■ 一般質問(7議員が登壇)	9
■ ふじかわ昔ばなし	16

太陽光発電システム設置補助金を増額

補正合計9,213万円 一般会計総額72億3,655万円

12月定例会で、補正予算の専決処分承認案2件、条例の制定案3件、条例の一部改正案6件、補正予算案8件、組合の規約変更案1件、計画変更案1件、人事案1件、工事請負契約案3件、議員発委案3件、継続調査申出書案4件、合計32議案について原案どおり可決した

おもな一般会計補正予算

希望者が多い、太陽光発電システム設置補助金
430万円を増額し合計695万円に!

平成24年度補助金交付件数状況

当初予算 167万円	在住者 20件 転入者 2件	補助金交付決定件数
9月補正 98万円	在住者 12件 転入者 1件	
12月補正 430万円	在住者 40件 転入者 10件	見込み件数

補助内容 町内在住者=7万円 町外からの転入者=15万円



普及が進む太陽光発電

23年度実績
補助額 2,649,000円

3~4kw未満	19軒
4~5kw未満	12軒
6~7kw未満	2軒
7~8kw未満	1軒
9kw以上	1軒
合計	35軒

白子地区土地購入費(民地^地国^有地)1,694万円
店舗出店は公募(プロポーザル)によりローソンに決定

平成25年6月 オープン予定 契約期間は29年
土地利用料は月55万円を予定



ローソン出店予定地(白子地内)

その他の補正予算

- 分庁舎壁面張替工事 349万円
- 広域入所委託料 252万円
- 障害者自立支援給付費など 4,912万円
- 有害鳥獣防除報償費 165万円
- 甲西バイパス沿い観光案内板移設費 120万円
- 町営住宅の修繕費 180万円
- 八雲池展望台支障木補償費 15万円



木が視界をさえぎっている八雲池展望台

おもな特別会計補正予算

活性化事業

塩の華通年営業に 423万円を追加補正

平成24年12月6日から平成25年3月31日まで試行

塩の華は毎週木曜日を定休日としていたが通年営業とするために補正。 原案可決



通年営業となった塩の華

条例制定

産業建設常任委員会

移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例 原案可決

地区計画等の案の作成手順に関する条例 原案可決

水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例 原案可決

おもな条例改正

富士川町老人医療費助成金支給条例を廃止する条例 原案可決

- (イ) 町民税非課税世帯の68歳、69歳の方の医療費については、通常3割負担であるが条例で1割負担となっている（県で1割・町で1割を負担）。
- (ロ) 23年度実績では97人が対象。負担額は約422万円で、内、県が211万円を負担、町では211万円に罰金65万円を加えて276万円を負担した。24年度は92人、町負担分約200万円を予定している。
- (ハ) 山梨県単独老人医療費助成が平成25年3月31日をもって廃止となる。これに伴い町単独ではこの事業を継続できないため廃止とする。ただし、平成25年3月31日現在、受給者証の交付を受けている者が、平成25年4月1日から平成27年3月31日までの間に受ける診療などに係る医療費助成はこれまでどおり行う。
- (ニ) 弱者への配慮から、町単独でも継続すべきとの意見があった。しかし、県下各市町村も廃止予定で、町単独での2割負担は考えていないとの答弁があった。

規約変更

峡南広域行政組合格約の変更 原案可決

当町のふれあいペンダントの通報先が10月1日から変わった。これまでは通報の受信先が北部消防署だった。現在は、まずNPO法人山梨県安心安全見守りセンターにつながり、そこから北部消防署へ出動要請が出るようになった。受信先を移行した目的は北部消防署の業務軽減や24時間対応のより細やかなサポート実現などのため。

これに伴い、峡南広域行政組合への負担金が、平成25年度から約51万円減額される予定である。

人事

人権擁護委員（3期目）

中込 昌司 氏（鯉沢）

任期満了に伴い推薦に同意

委員会レポート

総務・教育厚生常任委員会は12月19日、産業建設常任委員会は19、20日(現地視察)に委員会を開催。平成24年度主要事業進ちょく状況などの説明を受けた。その後、要望などを行った。

総務

教育厚生

産業建設

総務常任委員会

【企画課】

観光関連施設を管理運営する法人設立のスケジュールなどは

平成25年3月までに予算計上、条例制定などを行い、平成25年7月1日の設立を予定している。資本金は5、000万



道の駅富士川の完成イメージ

円。額面一株の金額は5万円を予定している。

観光関連施設とは

「塩の華」「つくたへかん」および、平成26年度前半に完成する「道の駅富士川」などの町が所有する施設。

びっくり高木といしいそうたるうの地域貢献活動の内容は

町内のおもな祭りの司会のほか、6月には町内保育所の交通安全教室、10月に保育所合同運動会、12月には鯉沢中学校にて、自らのイジメ体験を踏まえた講話を行った。1月19、20日の国文祭では司会をする事になっていく。今後の予定は決まり次第お知らせする。

この事業は一年契約なのか

吉本興業は期限を定めていない。いしい本人も来年も町に住む意向があることは確認している。(要望)町のPRなどは続けて行わなければ効果がない。今後もこの事業を継続したほうがよい。

【財政課】

予算編成の基本的考え方、地方交付税の概要などの説明をつけた。



びっくり高木といしいそうたるうの交通安全教室(第2保育所)

【子育て支援課】

第4保育所
大規模改修工事完成

新築から30年以上が経過し、雨漏りなど老朽化が著しい第4保育所の大規模改修工事が完成した。改修内容は、屋根の防水工事や電気設備などの器具類の交換

また、0歳児や未満児の受け入れにも対応できるように



きれいになった第4保育所

床暖房設備、エアコンも完備した。そのほか、トイレの全面改装や玄関アプローチの改修などを実施した。

改修工事総額は1億1、914万円。

【生涯学習課】

町民図書室の
検索システムは

平成22年から町民図書室に蔵書検索システムを導入し、パソコン画面から本を検索できる。また、県立図書館から自己負担なしで町民図書室までの図書の宅配サービスが受けられる。

【町民生活課】

住基カードで

県立図書館の

蔵書の貸し出しは

一度県立図書館でカードを作り、その情報を自分の住民基本台帳カードへ書き込めば次回から利用できる。

【農林振興課】

長沢排水機場改修工事

湛水防除事業として実施

工期24年12月1日から25年

2月28日まで、請負金額

231万円、工事概要は取水

口整備一式、進入路整備一式

畔沢農作業道整備工事

農業体質強化基盤整備促

進事業として実施。工期24

年10月3日から25年2月20

日まで、請負金額782万

円、施行延長L1110・

9m、幅員W3m。



畔沢農作業道整備工事

中山間地域総合整備事業

県営中山間地域総合整備

事業として実施。穂積地区

農道5号線道路工事、施行

延長L1138m、幅員W

3mおよび上手2工区鳥

獣害防止柵設置工事、施行

延長L2、290m、H

2・3m。

【建設課】

東川排水区雨水幹線管渠

布設工事

工事概要はボックスカル

バート1700×1700、

L66・7m。



東川排水区雨水幹線管渠布設工

町道鬼島通学路線道路改良

工事

施工延長L177m、

工期24年10月31日から25年

1月15日まで、請負金額

392万円。

【商工観光課】

八雲池トレッキングコース

全長約10km、標高差

350m。



トレッキングコースからの眺め

十谷観光駐車場擁壁補修工事

【上下水道課】

鯉沢汚水幹線33-24-4

号管布設工事

公共下水道事業として実

施。工期24年10月20日から

25年3月16日まで、請負金

額4、725万円、施行延

長L222・9m。



鯉沢汚水幹線33-24-4号管布設工事

さらに前進!!

し、毎月1回話し合いをもっています。
の向上・執行部への監視能力の向上などです。

具体的には何をやったの？

年1回休日議会を開催

平日に傍聴できない方にも議会を身近に感じていただくことが目的です。

町民との懇談会を実施

年1回数カ所の区に議員が出向き、
直接町民との対話の機会を設けています。



昨年に引き続き行われた地区懇談会

勉強会・研修会の実施

議会改革に関する勉強会、その他必要に応じてテーマを決めて実施しています。また、議会改革先進地への視察研修も行いました。議会が主催した地域医療に関する勉強会では、町民・町職員にも呼びかけ、町民と共に学ぶ機会をつくりました。



県町村議会議長会・花輪次長を招いての勉強会

議会運営面の改革

議会運営委員会を中心に議会運営面の改善を随時行っています。

- ・ 予算・決算の特別委員会による審査方式の導入
- ・ 一般質問の持ち時間制限の導入
- ・ 各種審議会などへの議員の参画の見直し、などです。

その他

議員定数・政務活動費・費用弁償・報酬などについて、継続して議論を重ねています。

特集 議会改革

議会改革

全議員が参加のもと、議会改革特別委員会を設置
目指すことは・町民に開かれた議会・議員の資質

今なぜ議会改革なの？

「地方分権」の時代を迎えて十数年。時代が大きく変わる中、議会もまた古い体質を見直し、住民にもっと開かれた、もっと信頼される議会になることが求められています。

町民を代表する機関として町執行部と対等の立場で切磋琢磨する議会の役割を果たすためにも、議員自らが資質の向上に努め、現状に甘んずることなく常に改革に向かう姿勢が求められているのです。

これからどうなるの？

今後さらに改革を進めていくため、このほど、議員7人の構成による「議会改革小委員会」を設置しました。その内容を町民のみなさまにもご理解いただき、ご意見も伺いながら、あるべき議会の姿を目指します。

● 広報常任委員会の活動報告 ●

広報研修会に参加

第77回町村議会広報研修会が10月29日から30日まで、東京シェーンバッハ・サポーにおいて開催されました。当日は、全国から約400人の広報編集委員らが参加。当委員会からは、全員の6人が出席しました。

1日目は、文章校正、表記、写真の撮影方法などを研修。2日目は、分科会方式の「議会広報クリニック」に参加しました。今回学んだことを生かし、読みやすく親しみやすい紙面づくりを心がけていきます。

富士川町議会だより

広報紙部門
写真部門

優秀賞



第30回山梨県町村議会広報コンクールの表彰式が11月2日、甲府市の自治会館で行われました。

広報紙部門においては9町18紙の中から、写真部門においては9町34紙のなかから、それぞれ「富士川町議会だより第9号」が優秀賞を受賞しました。

この結果に満足することなく「読みやすく親しみやすい議会だより」を目指し、委員一同、日々精進を重ねていきます。

二病院統合の協議が始まる!!

25年4月に病院設立の母体組織を設置

26年4月に統合病院を開院

協議会の協議項目

- 設置に関すること
- ・病院の経営形態
- ・病院の名称
- ・開院準備
- 人事管理に関すること
- ・役職員の処遇
- ・給与及び定数
- ・就業条件
- 管理運営に関すること
- ・例規の整備
- ・情報システムの整備
- ・業務管理
- ・施設管理
- ・関連施設
- 財務会計に関すること
- ・財産の管理及び処分
- ・会計処理
- ・資金管理



総合診療型病院として予定されている市川三郷町立病院



基幹診療型病院として予定されている社会保険鯉沢病院



峡南北部二病院統合協議会

峡南北部二病院統合協議会を設置

市川三郷町立病院および社会保険鯉沢病院の経営統合に向けた協議を行うため、11月30日、峡南北部二病院統合協議会が設置された。

同日行われた第1回協議会では、協議項目、手順および工程、経営形態の考え方、病院名称の考え方が協議され、25年4月までに基本計画をとりまとめることが確認された。

峡南北部二病院統合協議会 委員名簿

所属	役職名	氏名	備考
市川三郷町	町長	久保 眞一	会長
	町議会議長	内田 利明	
	町議会地域医療を守る特別委員長	秋山 詔樹	
	町議会議員	松野 清貴	
	学識経験者	深澤新次郎	
富士川町	町長	志村 学	副会長
	町議会議長	芦澤 益彦	
	町議会地域医療を守る特別委員長	齊藤 正行	
	町議会議員	井上 光三	
	学識経験者	今村 辰夫	
市川三郷町立病院	院長	河野 哲夫	
	事務長	伊藤 正己	
	総看護師長	穂坂さち子	
社会保険鯉沢病院	院長	中島 育昌	
	事務局長	大間 辰雄	
	看護局長	保坂ひろみ	
山梨大学医学部附属病院	副病院長	佐藤 弥	
山梨県	福祉保健部長	三枝 幹男	

病院の経営形態・名称は

1月に意見集約

12月25日に開催された第2回協議会で、統合病院の経営形態、名称、情報システム整備などが提案され、これらについては、両町に持ち帰って検討し、1月の協議会に置いて意見集約することとなった。

富士川町議会では、1月に特別委員会を開催し、統合病院の経営形態、名称などについて協議していくこととした。

町政を問う 一般質問

さめた洋平
議員



問 フットサル施設への改修は

答 必要性など大所高所から検討

フットサル場としての整備を(利根川公園)



問 メジャーになっていくスポーツのフットサルを、町の主力スポーツとして、フットサル大会の開催などを通して、県内外から関係者を呼ぶことは町の活性化に繋がると考えるが、フットサルの普及に関して町がかかわっていく考えはないか。

生涯学習課長 総合計画においても、生涯学習スポーツ活動の推進の施策とし、町民みなスポーツ活動を提唱しており、フットサルも

その中の一つと考えている。

問 町内でフットサルができる施設があるか。

生涯学習課長 町内にはフットサルができる施設はない。

問 体育館や人工芝のテニスコートなど、他の競技と併用してフットサルの場を提供する考えがあるか。

生涯学習課長 町内にとどの程度の希望者がいるか、ニーズ調査などをする中で状況把握に努めたい。

町長 中巨摩広域のスポーツセンターに負担金を出しているので、町の施設として使っていたきたい。

問 利根川公園のゲートボール場は、本来の利用目的が果たされていない。ゲートボール場へ人工芝の張り替え改修する考えはあるか。

町長 ゲートボール場としての必要性や、フットサル場として活用できるかも含めて大所高所から検討する。

町のPR強化を

問 プロサッカー選手が育

つ町のようなPRを、観光・物産などのPRに加えて全国に発信していくことが、さらなる活性化に繋がると思うが考えを伺う。

町長 スポーツ分野においてもオリンピック選手やプロスポーツ選手を輩出しており、各種スポーツ大会も数多く開催され、多くの方々が町に訪れている。スポーツはもとより、他県に誇れるあらゆる資源を活用した誘客を図ることが重要であると考えている。自然・産業・文化・歴史などを活用した従来の観光に加え、地域でのスポーツ活動を始めとした教育活動、ボランティア活動などを有機的に結合させた新たな活性化策にも取り組んでいきたい。

問 全国で活躍している選手に観光大使などをお願いし、任命して町を宣伝してもらう考えは。

町長 PRのできない大使を任命するわけにはいかない。適任者がいたらぜひお願いしていきたい。

問

どのような経営形態で2病院の経営統合を目指しているのか

答

地方公営企業法の全部適用をした企業団が主体となる



神田 智 議員

問 鯉沢病院、市川三郷町立病院は、どのような経営形態での経営統合を目指しているのか伺う。

町長 峡南北部二病院統合協議会において、経営形態案を4つに類型化するとともに検討を進めている。

その中で地方公営企業法の全部適用をした企業団が主体となつて、その企業団の企業長が管理・運営していく。その企業長にはできる限り権限を与えていく。26年4月スタートなので、その時期を考えると、それが適当ではないかと考える。

問 組合の構成団体は両町、組合の議会は両町の議会代表者で構成、黒字予算なら問題ないが、赤字予算の場合、その負担については両町議会の議決が必要。その負担については。

町長 仮定の話だが、特別地方公共団体をつくる。その企業団が予算の調整など議会を開催する。

町が特別交付金、補助金委託金を出す場合は、議会の議決が必要となる。

特別地方公共団体なので、



緊急医療として期待される鯉沢病院

地方債、市中銀行からの一時借り入れもできる。企業長が自分の病院の経営という観点から、企業団の議会で決定していけば、いけるのではないかと思っている。

独立行政法人化の考えは

問 独法化は、理事長、評価委員会の任命権、中期目標の策定など、自治体が責任と権限を持つて、自治体のその病院にかかる費用を最小限に抑えて、医療経営

を確立できる。病院経営は病院の専門家に任せる方がよいのではないか。

町長 独法は理事長が理事会を、組合は議会を、動きが鈍いということもあるが、地域の声を届けるには、議会のほうがよいと思っている。独法は黒字化目的で病院運営をしていく。町内で本当に医療に困っている人に手が差し伸べられるか疑問となる。そこで独法では評価委員会制度がある。

公営企業の場合は、議会が評価・審査する。もし議会の了解をいただき、必要であれば評価委員会を入れてもよいと思っている。

問 基本契約書には、一定期間を経過した時点を目途として、経営形態の評価・見直しの協議を行うとしているが。

町長 地方公営企業法の全部適用がうまくいかなければ、当然独法化、あるいは別の方策がもしあれば、そちらも考えていくことになると思う。

問 平林へき地保育所の今後は

答 地域の方々と話し合う

齋藤 正行 議員



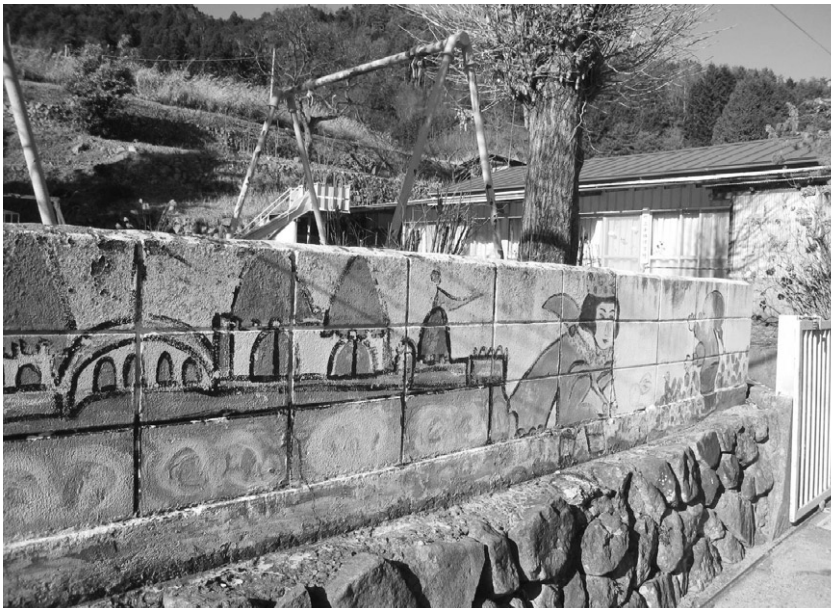
問 休所している保育所の管理は。
子育て支援課長 3力所の保育所が休所となっており、保育士が定期的に草取りなど行っているが、遊具の保守点検は行っていない。
問 平林へき地保育所は、昭和37年に建てられ、平成15年から休所となっているが今後は。
子育て支援課長 早急に地域の方々とこれからについて話し合いの場を設けたい。

下水道の設置状況は

問 工事が実施され、一部供用開始されたのは平成5年と思つが、町の整備状況は。
上下水道課長 釜無川流域下水道の関連公共下水道事業として、昭和62年から山間地を除く市街地で、下水

道計画区域として工事に着手し、整備率72・8%となっている。

問 小林区の設置状況は。
上下水道課長 小林区の約7割の区域を整備したが、竹重地区については平成26年度に下水道法および都市計画法の認可申請を行い、27年から着手していきたい。



平成15年度をもって休所された平林へき地保育所

消防委員会条例の見直しは

問 消防委員会条例に団員の服務等の待遇について、議会に建議することであるが、議会で決めることではないと思つが見直す考えがあるか。
総務課長 県内では、18市町村が条例を定めているが、その内9市町村は議会に建議することを定めていないことから、今後、協議しながら見直すことも考えていきたい。



平成15年度をもって休所された五開へき地保育所

問

地方版子ども子育て支援会議を設置する考えは

答

国の基本指針などの動向を注視し検討する

堀之内美彦 議員



問 子育て環境の充実を図る子ども子育て関連三法が成立した。子ども子育て支援関連の制度財源を一元化し、新しい仕組みを構築し、新しい仕組みを構築し、質の高い学校教育、保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における療育支援の充実を図るものとして、国においては25年4月支援会議が設置される。本町においても来年度から子育て当事者などをメンバーとする合議制機関を設置する必要があると思うが、当局では設置する考えはあるのか伺う。

答 子育て支援課長 子ども子育て支援法による合議制機関の設置については今後国の基本方針などの動向を注視し検討していく。

問 平成27年からの本格施行に向け事業計画策定に向けたニーズ調査のための経費を計上することが必要と考えるが、考えを伺う。

子育て支援課長 国の子ども子育て会議で議論した上で、基本的な指針を示すとされている国の制度工程などからみると、9月・12月定例会の際に予算要望したいと考えている。

問 新たな制度への円滑な移行を目指し、本町においても速やかに準備組織を立ち上げ対応すべきと考えるが。

子育て支援課長 町では事業計画である子育て支援計画や規定の整備にあたっては、関係部署との連携を図る中で対応する。

問 利用者に対しての新制度の情報を提供するとともに、相談体制を整えていく

ことが必要と思う。来年度から実施すべきと考えるが当局の対応を伺う。

子育て支援課長 新制度の情報提供については広報などでお知らせする。相談体制については、現行の子育て支援課・保育所などと連携を図る中、充実した体制の構築に務める。

公立学校施設の非構造部材の耐震対策は

問 天井や照明器具・内外壁・設備機器・窓ガラスなど、非構造部材の耐震化が



子育て環境の充実を

遅れ、二次被害を防ぐ取り組みは大幅に遅れている。文科省は昨年4月耐震対策に積極的に取り組むよう通達を出している。小中学校の点検の状況について伺う。

教育総務課長 目視できる施設設備は学校職員により常時点検している。

また、校舎などは建築基準法第12条の規定による調査を実施しているが、調査対象校でも天井などの点検対象外の学校や校舎、体育館は未点検である。

問 病院経営は一部事務組合全部適用が既定路線では

答 決定ではなく協議会の中で決める

秋山 貢 議員



問 11月30日に開催された峡南北部二病院統合協議会では、経営形態の類型4案が示された。類型案の1つが一部事務組合の地方公営企業法の全部適用である。この経営形態のメリット・デメリットをどう考えるか

町長 議会が関与するため地域の声が届きやすい。2町が設置するので、地域で必要とする医療政策が提供できる。それと企業債が発行できる。デメリットとすれば、地方独立行政法人のほうが、法的にも自立的で弾力的な経営が可能になる

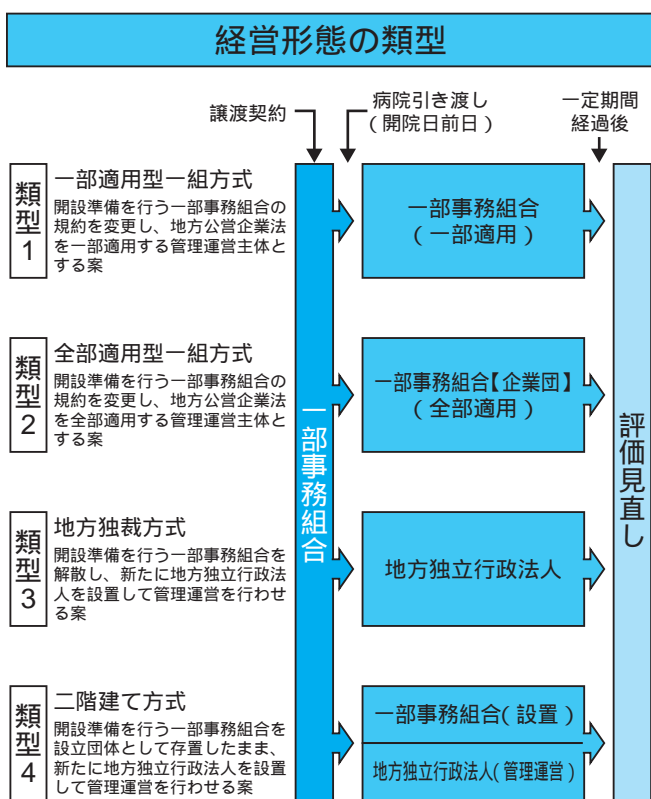
ことは事実である。また、職員の身分が特別地方公共団体の職員ということである。問 たとえば全部適用の管理者は人事権を持ち、職員の独自採用が可能としつつ、定数は条例で決める。予算編成権を持ち原案を作成する。しかし、企業長が調整して議会に提出する。

結局、両町の合意で意思決定する。利害関係者は倍増し、議会の関与は強く、管理者の裁量は制限される。

2町の利害調整に手間取り、意思決定がタイムリーにできない。病院経営に必要なスピードや柔軟性が生かされない。病院経営は一部事務組合の全部適用が既定路線ではないのか。

町長 物事が全て決まっているわけではなく、協議会の中で決めていく。これから2回ぐらい協議会の中で議論し、年明けにならないければ最終的な決定はできない。

問 一定期間を経過した時



点で、経営形態の評価および見直しをするというが、いつごろになるのか。

町長 一般論では、3年から5年くらいが一定期間になると考える。

問 専門的知見も活用した第三者による評価機関を、26年4月には設置すべきと考えるか。

町長 事後評価はやっていかなければならないと思っている。新しい病院ではやっていただきたいと考える。

身延線鯉沢口駅を町の顔として生かせ

問 町の顔としてのJR身延線鯉沢口駅を、どのように位置づけ活用するのか。

商工観光課長 身延線鯉沢口駅を町の玄関口の一つとして位置付け、構内への観光パンフレットの設置や町内へのアクセス案内を掲示し、案内の充実を図っていく。ふれあい散歩道が富士川の川べりにあるので、町内への誘導に活用したい。

問 図書館の整備・充実を図る 検討会設置の考えは

答 近いうちに判断したい

永井寛子 議員



問 図書館の年間利用状況はどのようなものか。
生涯学習課長 昨年の利用者は8、600人である。一昨年は9、100人だから減少傾向にある。
問 5年前からずっと減り続けているのが実態だが、原因は何か。
生涯学習課長 私見だが、子どもの数の減少が原因しているのではないかと思う。
問 小さい時からの読書習慣は表現力や想像力を高め、感性を豊かにする。読書活動の普及のために、職員が懸命に努力しているのは承

知している。町はどのような支援策をとっているか。
生涯学習課長 定期的にお話し会を開いたり、児童センターに出向き読み聞かせなど、読書に親しむ機会を設けている。
問 2階の学習室は誰でも利用できるのか。
生涯学習課長 学生のみが利用可能である。
問 なぜ学生のみか。社会人でも静かな環境で学びたいと思っている人はいるか。
生涯学習課長 職員は常時1階にいますので2階は目が行き届かない。学生の学習のための場所ということである程度制限させていただいている。一般の方はロビーに書籍を持って行って閲覧していただいている。
問 職員は1人しかいないので、2階には目が行き届かないのは、学生であっても一般の人であっても同じはず。納得できる理由ではないと思うか。
生涯学習課長 2階の学習室の利用形態については、

今後検討してみたい。
図書館移転を望む声が多い
問 図書館は耐震化されていない町民会館の中にあることに、不安を抱く人は多い。特に昨年の3・11後の防災強化策が言われているなか、図書館問題は喫緊の課題であるが、町の考えを伺う。
生涯学習課長 今後優先順位をつけて整備していくことになると思うが、今のところ具体的な計画はない。



楽しく本に親しむ子どもたち

問 図書館の移転を望む声が町民の中から出ているが、町は承知しているか。
生涯学習課長 先日、図書館の移転も視野に入れた検討会の設置をという陳情書をいただいた。今の施設の抜本的見直しを含め、トータル的に検討していきたい。
問 抽象的な言い方ではなく、早急に検討会の設置ということを考えているか。
町長 他の公共施設のことでも一緒に考えながら私の考えを整理、判断をし、その後検討会を立ち上げたい。

一番危険な町民会館の耐震化は

来年3月に公共施設耐震化計画を発表

齊藤 欽也 議員



問 3月に町民会館と役場本庁舎の耐震化について質問した。「実施計画に合わせ財政シミュレーションをしている」との答弁であったが現状は。

町長 公共施設の耐震化はこれまで子どもの施設を優先に実施してきた。私の公約である「さらなる合併」も近いうちに棚上げしなくてはならない。その表明をする中で、他の耐震化に取り組んでいきたい。

問 平成9年、田中町政時代に耐震診断をし、町民会館あり方検討委員会も開催

した。河西町政時代にも再度診断を実施した。何年も経過したが、一向に手がつけられていない。

町民の中には「教育委員会は安全な所に引越した。だから耐震化をする気がない。利用する町民はどうなっているのか」との声が出ている。「図書館との関係でトータル的、抜本的に検討する」との事であるが、これまで町は何をしてきたのか。

町長 一気にはできない。いろんな事業もある。優先順位を決めながら進める。

問 考えていくという話はおつやめてほしい。「病院で経費が大変だ」では困る。来年3月には具体的に示してもらいたい。

町長 「さらなる合併」に判断を下し、計画を発表する。

鯉沢病院の取得経費と病院運営経費は

問 12月10日に厚生労働省からRF0に譲渡交渉の指示が出され、新病院設置が本格的に動き出した。小さ

な自治体が病院経営を行うことは大きなリスクを伴う。場合によっては地域医療が崩壊する。これまで経営統合に向け経営形態の議論をしてきたが、当事者のおおのにとつて都合のよい統合になっていく。私は今でも反対である。取得費用は。

町長 鯉沢病院の簿価は70億円以上になっているが、具体的な交渉はこれからである。無償譲渡は無理にしても、再生交付金で処理で

きるようにしたい。

問 経営統合時の負担は。

町長 市川三郷町立病院の不動産鑑定を依頼している。医療機器の借金、累積赤字5億円など、協議会のなかで資産・負債の処理を協議し確定する。町立病院の建て替えも必要である。

問 今回は具体的な数字がひとつも出てこない。

町長 みずほ総合研究所にシミュレーションを依頼してある。今後数字を示す。



耐震化されていない町民会館

ふじかわ昔ばなし

タイラリンかヒラリンか 平林の地名にまつわる笑話

文字を知らない少しまぬけな下男が、主人の手紙を持って、平林村の知人に届けに行くことになった。そして主人から、もしも行先を忘れたら、手紙の表を誰かに見てもらって、道を聞いて行けと言われた。

下男は一里ばかり来ると道が二筋に分かれているので通りかかった人に手紙を見せて道を尋ねた。その人は手紙を見て、これはタイラリンという所だが、左の道を行って、またその先で聞いてみるとよいと教えた。下男は左の道へ入ったが、行先を忘れないように、タイラリン、タイラリンと大声で歌いながら行った。しばらく行くと、また道が二筋に分かれていますので、下男は通行人を捕まえて、手紙を見せて道を尋ねた。するとその人は、ああこれはヒラリンという所だ。ヒラリンならば右の道を行くがよいと教えた。下男は今度

タイラリンかヒラリンかと歌いながら行くと、また分かれ道へ来た。そこで下男は通行人に尋ねると、その人は「これはヘイリンだと言った。こうして何度も何度も尋ねると、次の人はヘーベシだと言い、その次の人は一八十の木木だと言い、またある人は一八十の木木だと言った。

下男はこれまでに教わったことを一まとめにして「タイラリンかヒラリンか、ヘイリンかヘーベシ、一八十の木木か、一八十の木木」と大声で歌いながら、鵜沢のにぎやかな町を歩いて行くと、町の人たちは変な人だといって騒ぎ出し、とうとう役人が来て、下男を捕まえてお役所へ引いて行った。下男が手紙を出して見せ、これまでのいきさつを話すと役人は、なんだ、これはヒラバヤシじゃないか。それならばこっちへ行けと言つて、正しい道を教えてくれた。



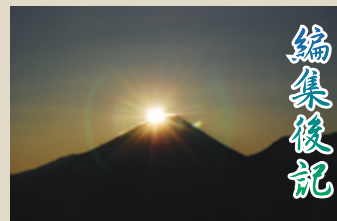
みさき耕舎から見た平林の集落

それで下男はようやく村の名前を思いだし、手紙のあて所に行くことができたというのである。

(増穂町誌から転載)

平林の話は全国各地にあり、また、落語にも出てくる話である。落語では「たいらばやしか、ひらりんか、いちばちじゅうのもーくもく、ひとつとやっつでとっきつきい」と言っている。

編集後記



この欄に掲載されている写真は、高下のダイヤモンド富士である。富士川町の観光名所として全国的にも有名になっており、元旦にはテレビでも放映される。一度見た人はその素晴らしさに感動するが、初日の出として見られる場所は意外に少ない。

最近、町で計画している「トレッキングコース」からダイヤモンド富士が見られることが分かってきた。高下よりさらに標高の高い林道だが、富士山の眺めは素晴らしく、新しい観光ルートとしても期待できる。(井上光三)

議会クイズ

- 問題1. 補正後の一般会計総額は?
- 問題2. 新病院の開院は何年何月か?
- 問題3. 塩の華の通年営業は何月何日から開始したか?

《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
《応募要領》必要事項を記入の上、八ガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中条1134
富士川町議会事務局 行
《締め切り》平成25年2月末日(当日消印有効)
《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え
(1) 3,100メートル (2) 宮城県気仙沼市 (3) 76億4,784万円
厳正なる抽選の結果、3名の方に賞品を発送しました。